

総務部門

議員報酬について



南田議員

安芸郡4町の比較では平均の支出と認識（立花総務部長）

議員報酬は費用弁償で、出席実費だと考える。これによると出席1日が12万円程度になる。町長はこれを妥当と思うか。

議員報酬額については、地方自治法に定められており、その性格は役務の対価と解されている。本町においては、議員数の削減等により経費の抑制に努められており、このたびは議員報酬のあり方も論議いただいている。現在の議員報酬は、本年4月現在の広島市を除く県内22市町の平均支給額月額33万8千円に比べ月額26万円となっており、また、近隣の安芸郡4町との比較では、月額26万2千円とほぼ平均の支出となっていると認識している。



福垣内議員

「マイネーム達筆運動」の提唱

関係団体等との連携を深めながら提唱して参りたい（三村町長）

自分の名前が達筆で書ければ、筆のまち熊野町出身者の誇れるものとして、一生に得をすることがあると思う。「マイネーム達筆運動」を興してはどうか。並行して、サイン専用の製品も開発してはどうか。

本町においては、春分の日を筆の日と定める条例が制定され、町民自らが書筆等を手で創作活動を行う事業が実施されているところである。本提案に関しては、筆を身近なものとして考える良い機会であるため、地域住民に浸透した実効性の高い取り組みとなるよう、関係団体等との連携を深めながら、提唱していきたい。また、サイン専用の製品開発については、筆事業協同組合等の関係団体から要望があれば協議をしたいと考える。



出来庭地区にある筆の街交流館 K-JIN

筆の街交流館 K-JINについて



山吹議員

まちづくり協働と交流事業の拠点として整備（石井地域振興課長）

出来庭地区にオープンしている、筆の街交流館 K-JIN の開館の目的と経営状況、予算、今後の事業計画は。

出来庭地区（町内の筆関連事業所の約3分の1が集中）にある元筆づくり工場を地域住民と協力して、まちづくり協働と交流事業の拠点として整備した。産業観光の事業所紹介、町民ギャラリ、化粧筆づくり体験、特産品の販売を行っており、9月の開館から11月末現在で1597名の来館者がある。予算は、県雇用創出基金を活用し、町が定住交流推進懇談会に業務委託。契約額は971万2500円。

今後は施設利用の促進を図るため、筆の里工房や郷土館などとの連携を深め、産業観光の推進等に努めたい。



藤本議員

町内コミュニティ輸送について

試験運行へ向けて準備を進めている（木谷副町長）

進捗状況はどうか。また、皇帝ハイツもできるなら従来のバス停より上方面も盛り込み、住民生活のより良い環境づくりを目指して欲しい。

現在、既存バス路線の存続、タクシー事業者の経営圧迫の回避を前提に、買い物や公共施設の利用など、生活利便性の向上といったコミュニティ振興と介護予防等の福祉施策の両面から慎重に協議を重ね、試験運行へ向けて準備を進めている。皇帝ハイツへの乗り入れについては、広電バス撤退という経緯も考慮しなければならぬ。ただ、皇帝ハイツ上方面へは、他の団地との兼ね合いもあるため、今後住民の声が反映されるような場を設けるなどして、ルート設定ができればと考えている。

町民の安全について（防犯灯などの設置場所）

藤本議員

防犯灯は交付金などを利用して積極的に補助を行っていく。道路照明は年度計画により事業を実施していく（木谷副町長）

防犯灯、道路照明の設置場所は適正であるか。事故防止のため、調査を行い対処すべきではないか。

防犯灯については、自治会と町との協働により設置及び維持管理を行っており、自治会からの新設の要望には地域活性化交付金などを利用して積極的に補助を行っていきたい。道路照明については、町内の県道、熊野団地内の道路など主要道路は、道路構造令に基づき設置しており、その他の町道では通学路及び交差点や急カーブ箇所を設置しているが未設置箇所も少なくない。今までは、地元要望から現地調査を行い、緊急度により設置してきたが、今後は通学路、夕刻に歩行者の多い道路を中心に調査し、年度別事業計画を策定の上、予算の範囲内で計画的に事業を実施していく。